

消防学校だより

令和4年6月号

発行年月日 令和4年6月30日
発行 宮崎県消防学校

初任科 普通救命講習 説明者訓練

6月14日(火)、普通救命講習 説明者訓練を行いました。消防職員は、自らが救急法を熟知し実施できることはもちろんですが、住民に対してわかりやすく指導することも求められます。今後、救急法指導を行う際、円滑な指導が行えるよう説明者、受講者役に分かれ訓練しました。



初任科 非常招集訓練

6月16日(木)、非常招集訓練を実施しました。初任科教育を終了すると、非番日並びに仮眠中、常に出動への心構えが必要です。

災害出動時でも、平常心を保つことは、安全管理上重要です。平時から臨戦態勢への心と身体のスイッチの切り換えを行えるように、今後も非常招集を行います。



初任科 ホース延長訓練

ホース延長訓練を実施しました。ホース延長も状況に応じた方法を選ばなければ、円滑な消防活動は行えません。折りたたみホース、狭所巻きの作成を行った後、折りたたみホースの延長訓練、狭所巻の通水した際のホースの特性を学びました。



初任科 双石山登山

6月17日(金)、双石山登山及びランニングを行いました。

双石山は、標高が500m程度と手軽に登山しやすい山ですが、遭難事故も数多く発生している山でもあります。今回、初めて登山をするという学生もいましたが、仲間と協力し目的を達成するとともに、山の歩き方、自己確保の必要性、水分補給の大切さを学びました。



救助科 第33期救助科入校

6月20日(月)、第3期救助科生が入校しました。

県内10の消防(局)本部が揃っての研修は久しぶりで、各所属に、この救助課程で得た情報を持ち帰ってもらえればと思います。

新型コロナウイルス感染症対策のため様々な行動制限はありますが、第33期救助科16名で約1ヶ月間を乗り越えてもらいたいと思います。



第33期総代 松本 幸一郎 (日向市消防本部)

救助科 校長講話

6月20日(月)、学校長による講話を行いました。

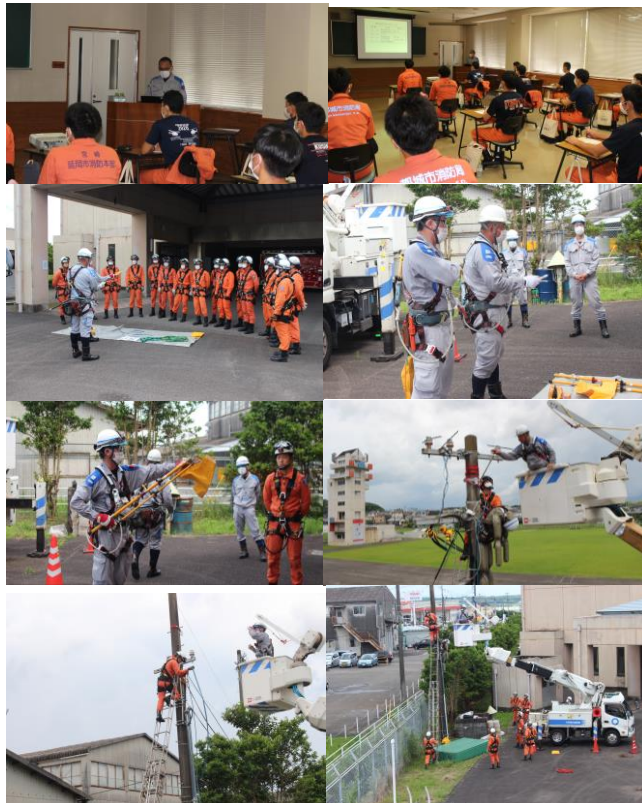
県庁職員としての自らの経験や、学んできた「仕事の進め方」「物事の見方、考え方」に加え、他分野の業務を知ることで、自身の視野を広げることなど、救助科学生の今後の業務の参考となる内容でした。



救助科 電気事故対策

6月23日(木)、九州電力送配電株式会社 宮崎配電事業所から講師に来ていただき、電気事故対策の講義及び救出訓練を行いました。

電気は現代生活に必要な不可欠なものであり、様々な環境で利用されています。しかし、電気は、目に見えないので感電による事故が起こることを認識する必要があります。今回の研修では、電気の基礎と安全、架空電線の見分け方、配電施設の説明を受けた後、電気事故により柱上で宙吊りになった要救助者の訓練を実施しました。



救助科 身体管理と怪我防止

6月23日(木)、エクセルの山田 義徳 講師に「身体管理と怪我防止」と題して講義とトレーニングを行っていただきました。

今年62歳の山田講師が、自らの経験と身体で行う講義は、かなり説得力があり、毎回、刺激を受けます。我々消防職員も身体が資本ですので、しっかりと身体管理を行いましょ。



救助科 エレベーター事故対策

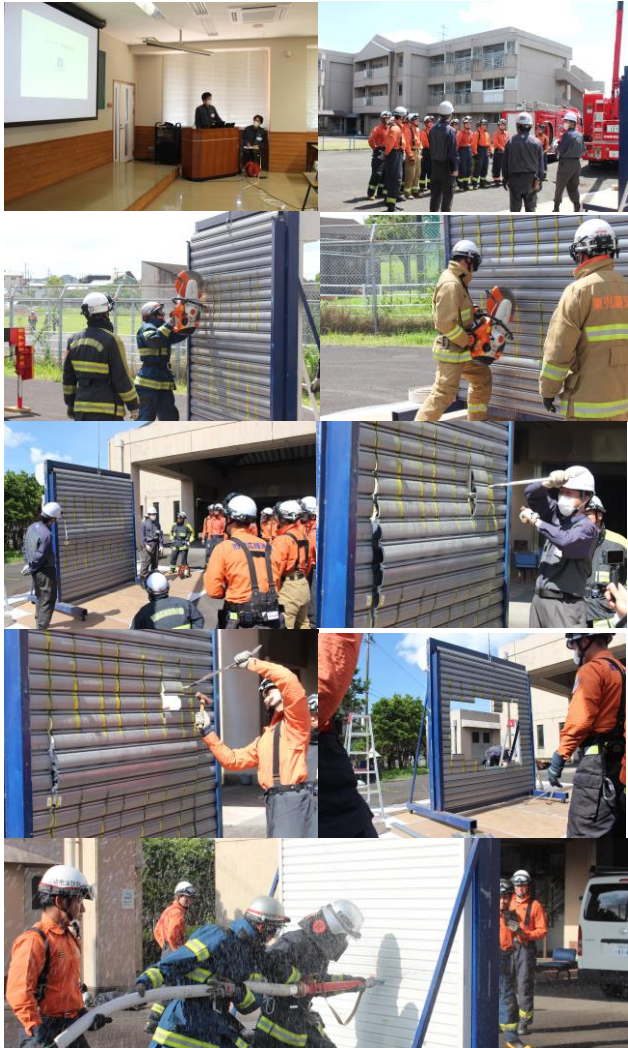
6月24日(金)、宮崎エレベーターサービスから講師に来ていただき、エレベーターの構造、取扱い訓練を実施しました。

火災や地震の際にはエレベーターでの閉じ込めも発生し、緊急を要する場合には消防隊が操作し救出する事もあります。有事に備え、エレベーターに対する知識を深めました。



救助科 シャッターの構造及び開放要領

6月24日(金)、文化シャッターサービス株式会社より講師に来ていただき、シャッターの構造と開放要領について学びました。様々なシャッターの種類や構造の講義を受けた後、実技にて重量シャッターの切断、開放訓練を行いました。



救助科 次世代自動車の構造と事故対策

6月27日(月)、トヨタカローラ宮崎株式会社から講師に来ていただき、次世代自動車の構造と事故対策を学びました。脱炭素に向けた社会的な動きの中、自動車の種類もHEV・PHEV・FCV・BEV・NGVと多種多様となっており、事故対応において消防も知識の習得が急務となっています。

しっかりとした知識を身に付け有事の際の対応に役立てます。



救助科 玄関ドアの構造と開放要領

6月27日(月)、LIXIL九州支社から講師に来ていただき、玄関ドアの構造と開放要領を学びました。

実際に玄関ドアの開放訓練を行ったことで、より理解が深まりました。



救助科 外傷アプローチ・交通災害

6月28日(火)、都城市南消防署特別救助隊に講師として来ていただき、外傷アプローチと交通災害について講義と訓練を実施しました。

交通事故現場では、要救助者にいち早く接触し、観察によって適切な応急処置を施し、車外へ救出する一連の動作が必要となります。閉鎖空間における車両内での活動は限られた人数での活動となることから、救助隊員として適切な活動が出来るように訓練しました。



救助科 山岳遭難救助

6月29日(水)、30日(木)の2日間で、日本山岳ガイド協会所属、国立登山研修所でも講師をされている笹倉 孝昭 氏を迎え、入山前のプランニング、アンカーの構築と総合的な評価、及び、確保理論等の座学と実地訓練を実施しました。2日目の実地訓練では、コンパスナビゲーションを行いながら目的地に向い、下山しながら救出訓練、搬送訓練を行いました。

また、2日目には西諸広域消防本部より岡原 由典 消防士長(令和3年度国立登山研修所講習修了)に助教として来ていただき、安全に効果的な訓練が実施できました。



7月の主な行事

- 救助科 ~7月15日(金)まで
- 消防操法審査員研修会 7月22日(金)

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp